



令和8年1月9日発行

演劇・映画の専門図書館

松竹大谷図書館

ニュースレター

No. 328(2026年1-2月)

新年を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます

旧年中は皆様より沢山のご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます

昨年は、松竹創業130周年を記念した歌舞伎座のチラシのデザインに当館から戦前の歌舞伎座筋書の表紙画像をほぼ一年を通じて提供し、デジタルアーカイブの活用事例として大きな成果を上げました。

また、13年間連続でクラウドファンディングを達成させ、運営状況の改善および貴重資料の保存や公開に取り組み続けた点が評価され NPO法人 知的資源イニシアティブ(IRI)によって選考される「Library of the Year 2025 ライブラリアンシップ賞」を受賞いたしました。

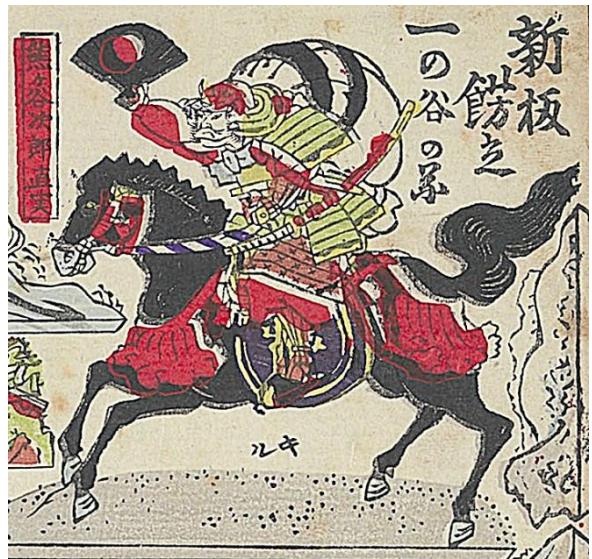
当館の活動を評価していただいたことを励みに、これからも演劇・映画の貴重資料を次世代につなぐためにスタッフ一同尽力してまいります。

本年も当館の活動に、ご理解・ご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

松竹大谷図書館 スタッフ一同

目次

新年のご挨拶	1
「新橋演舞場」戦前のプログラムをデジタルアーカイブで公開！	2
図書館総合展 あなたも使える専門図書館に参加しました	2
令和七年度 第54回 大谷竹次郎賞が決定しました	3
展示「大谷竹次郎賞歴代受賞作特集」&資料紹介「今月の芝居から」	3
歌舞伎座筋書で「歌舞伎タイムスリップ」の連載が始まりました！	3
計報	4
東京新聞でご紹介いただきました！当館デジタルアーカイブを活用した松竹 創業百三十周年歌舞伎座チラシ	4
2025年もたくさんの中央区イベントに参加しました！	5
資料提供	5
新たに資料をご寄贈くださいました方	5
新着資料案内	6-7
新規登録資料案内	7
2026年カレンダーのお知らせ	7
公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い	8
松竹大谷図書館へのご来館に関しまでのお願い	8
春期整理休館のお知らせ	8
利用案内	8



当館所蔵組上燈籠絵「新板飴立一の谷の図」部分

■「新橋演舞場」戦前のプログラムをデジタルアーカイブで公開！

松竹大谷図書館では昨年12月23日、開場100周年を迎えた新橋演舞場の戦前の公演プログラムを公式HPデジタルアーカイブ「芝居番付検索閲覧システム」にて公開いたしました。



当館ではこれまで、「松竹大谷図書館貴重資料デジタル化プロジェクト」の一環として、戦前の歌舞伎座プログラムをデジタル化しWeb公開するなど、クラウドファンディングによる所蔵資料のデジタル化や保存に取り組んで参りました。本年度は、一般財団法人小森文化財団2025年度の助成を受け、「劇場資料のデジタル化による資料の保存・活用と地域振興事業」として、本プロジェクトに取り組んでおります。

本プロジェクトでは、大正末期に新橋芸妓の技芸向上を披露する場として開場し、現在も「東をどり」を開催するほか、歌舞伎や新派など幅広いジャンルの興行を行い、本年開場100周年を迎えた「新橋演舞場」の戦前の公演プログラム等586点をデジタル化し、デジタルアーカイブ「芝居番付検索閲覧システム」にて公開いたしました。

この公開により、大正14(1925)年より昭和20(1945)年までに新橋演舞場で行われた多彩なジャンルの公演（歌舞伎、新派、文楽、新国劇、前進座、曾我廻家五郎劇、少女歌劇など）プログラムをWeb上で検索・閲覧することができるようになりました。

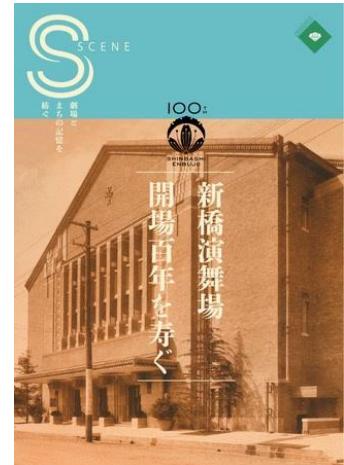
システムの【劇場名】に「新橋演舞場」と入力して検索していただくと、ご覧いただけますので、ぜひご活用ください！



なお、「S scene 劇場とまちの記憶を紡ぐ」と題した本プロジェクトを紹介する小冊子も刊行いたしました。

当館の活動や貴重資料デジタル化プロジェクトを広く知っていただくとともに、日本の近代演劇の発展に重要な役割を果たしてきた東京都中央区の劇場のひとつである「新橋演舞場」について、また、「劇場文化」や演劇史、演劇資料に興味関心を持つていただききっかけとなれば幸いです。

当館のほか、中央区の公共施設などをを中心に配布設置していただいておりますので、こちらもぜひお手にとってご覧ください。また、HPからダウンロードもできます。



松竹大谷図書館ホームページ

デジタルアーカイブはこちら

<https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/digital-archive/>

■図書館総合展 あなたも使える専門図書館に参加しました

「あなたも使える専門図書館」は、毎年秋に開催される日本最大級の図書館関連イベント図書館総合展で行われる、全国の公開型専門図書館の情報を紹介する特集企画で、当館は企画が始まった2016年から毎年参加しています。昨年2025年の図書館総合展パシフィコ横浜会場では、開催期間の10月22日から24日の3日間、126館分のA4サイズの紹介パネルの展示と配布希望のあった参加館のパンフレット、および参加館一覧リストの配布が行われました。会場展示や参加館一覧リストのPDFはこちらでご覧いただけます。

<https://www.libraryfair.jp/booth/2025/378>

また、図書館総合展公式サイト内のオンライン展示ページでは、パネルでご紹介した情報に加え、図書館の概要や利用条件、ホームページへのリンクなどが掲載され、こちらは会期以降も閲覧が可能です。

<https://www.libraryfair.jp/feature/2025/93>

毎年、参加館を増やしているこの図書館総合展の人気企画で、ぜひ気になる使える専門図書館を探してみてはいかがでしょうか。

■令和七年度 第54回 大谷竹次郎賞が決定しました

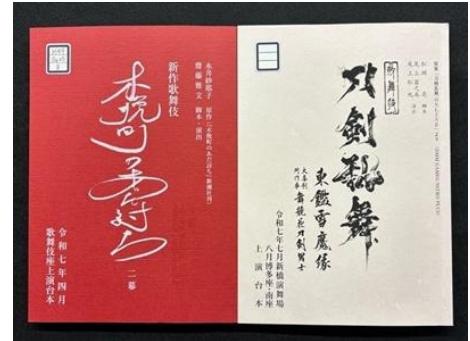
第54回令和七年度の受賞作は、下記の通り2作品が決定いたしました。

- ・『木挽町のあだ討ち』 斎藤雅文 脚本（歌舞伎座4月上演）
- ・『歌舞伎 刀剣乱舞 東鑑雪魔縁』 松岡亮 脚本（新橋演舞場7月、博多座・南座8月上演）

『木挽町のあだ討ち』は、直木賞と山本周五郎賞を受賞した時代小説を歌舞伎舞台化した作品です。芝居町で起こった敵討を各々の視点から語る構成の原作を、主人公の若侍の成長物語として歌舞伎劇に仕上げた点が評価されました。また、周りで見守る芝居の裏方とともにその人生を巧みなせりふで浮き彫りにした脚本が特に高評価を得ました。

『歌舞伎 刀剣乱舞 東鑑雪魔縁』は、名だたる刀剣が「刀剣男士」に姿を変え、歴史を守るために戦うゲームを原作とした作品です。本作は、実在の人物と名刀の運命を重ねた歴史劇として、登場人物一人ひとりがもつ背景を俳優の個性を活かして魅力的に描き、歌舞伎舞台化として成功している点が評価されました。

大谷竹次郎賞は、毎年1月より12月までの公演において上演された新作歌舞伎および新作舞踊劇の脚本を対象に選考し、娛樂性に富んだ優れた脚本に対して松竹株式会社、公益財団法人松竹大谷図書館が贈る賞です。昭和47（1972）年より毎年、松竹株式会社創業者一人で、新作歌舞伎の上演に尽力していた大谷竹次郎の誕生日にちなんで12月中旬に発表しており、今年で54回目を迎えました。授賞式は2026年1月19日（月）に行われます。



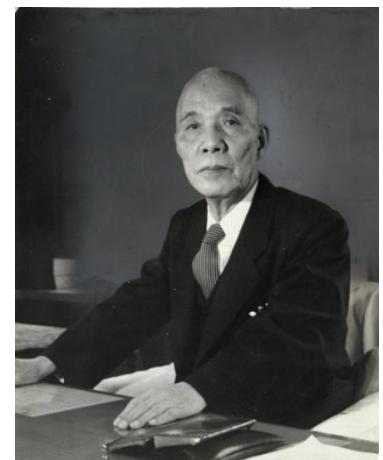
■展示「大谷竹次郎賞歴代受賞作特集」と資料紹介「今月の芝居から」

今回は、当館と松竹株式会社との共催により新作歌舞伎の優れた脚本に贈られる「大谷竹次郎賞」の歴代受賞作を一挙特集いたします。

大谷竹次郎賞は、新作歌舞伎の脚本賞を設けることを願っていた当館の創立者・大谷竹次郎の遺志を継いで、昭和47（1972）年2月14日に設定されました。展示を通して、新作歌舞伎の発展を願った竹次郎の名を冠したこの賞をより多くの方に知っていただき、脚本にも親しんでいただけますと幸いです。

また、資料紹介「今月の芝居から」では、今月上演している歌舞伎座の演目や、三越劇場『わが歌ブギウギ』関連資料などを、閲覧室のブックトラックからご自由に手にとってご覧いただけます。ぜひお気軽に立ち寄りください！

開催期間：令和8(2026)年1/13-1/28／平日：10～17時（休館日：土日祝日）
開催場所：（公財）松竹大谷図書館 閲覧室/入館無料



松竹大谷図書館創立者 大谷竹次郎

■歌舞伎座筋書で「歌舞伎タイムスリップ」の連載が始まりました！

今年から新たに始まった歌舞伎座筋書の連載「歌舞伎タイムスリップ」は、当館スタッフが図版選定と監修を担当しています。

あのころの歌舞伎座、歌舞伎界ではどんなことが起きていた…？第一期歌舞伎座が開場した明治22（1889）年をスタート地点として5年ごとに、当館所蔵資料からみえてくる当時の歌舞伎界を振り返る企画です。一年間にわたって連載される予定ですのでどうぞお楽しみに！

さて、1月は歌舞伎座が開場した明治22（1889）年の辻番付と雑誌『歌舞伎新報』をご紹介しています。『歌舞伎新報』は、明治12（1879）年より発行され人気を博した演劇雑誌です。あらすじのほか、俳優の芸評、劇界や幕内の話題など時代を映し出した内容で、明治期の歌舞伎を知る上で重要な資料となっています。

当館では、この『歌舞伎新報』を閲覧室でご覧いただくことができます。連載をお読みいただき、歌舞伎座が開場した頃の歌舞伎界にご興味を持たれた方は、ぜひご一読ください。



歌舞伎新報』創刊号

訃報

当館元理事長 大谷信義が、病気療養中のところ、2025年12月10日10時24分に永眠（享年80）いたしました。

大谷元理事長は、松竹創業者の一人であり当館の創立者である大谷竹次郎の孫で、昭和59年4月から令和6年6月まで、長年にわたり当館の理事長を務めました。

ここに生前のご厚誼に深く感謝いたしますとともに、謹んでご通知申し上げます。

公益財団法人松竹大谷図書館

『財団法人松竹大谷図書館開館50周年記念』誌より

「財団法人松竹大谷図書館開館50周年にあたって（大谷信義）」 拠粹

松竹の創業は明治28年（1895年）。創業者の白井松次郎、大谷竹次郎の双子の兄弟が京都三條で生まれたのが明治10年。二人は地元の有済小学校に通い卒業する。二人にとって母校と呼べたのはそこだけであった。後に、大谷会長が文化勲章受章に際し当館創立を思い立ったことの他に、この小学校を訪問しテレビを贈っている。テレビが希少だった時代である。

さて、小学校しか卒業していない兄弟はその後どうして勉強したのだろう。二人を教えたのは「演劇」である。歌舞伎座のロビーにある時計に竹次郎の言葉が残されている。「わが刻（とき）はすべて演劇」とあるように二人は演劇、芝居の中から学んだ。さしづめ教科書は台本であり淨瑠璃本であった。親の仕事を手伝いながら接していた芝居の世界は、無尽蔵の知識の宝庫であったはずだ。晩年になっても会長の読書量は減らなかつたと思う。休日に日当たりの良い書斎で本を読んでいた姿を想い出す。小説等は勿論だが、シナリオは演劇、映画を問わず読み破っていた。松竹の仕事の基は脚本、さらにその源は原作と考え、脚本を尊重しライターを重用、さらに原作の作家も大切にしていた。

松竹がこれからも脚本、戯曲を重んずる会社であり続けるために、また、世の演劇・映画に携わる方々さらにファンのためにも、当図書館は今後もお役に立てるよう努力して参ります。



松竹大谷図書館開館50周年記念パーティー
(平成20年11月27日)



松竹大谷図書館理事長懇親会
(令和元年8月20日)

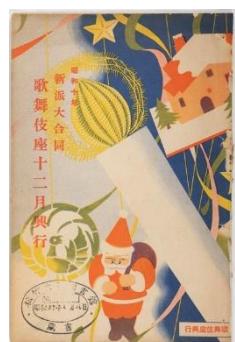
■東京新聞でご紹介いただきました！当館デジタルアーカイブを活用した松竹創業百三十周年歌舞伎座チラシ

昨年12月25日付の東京新聞朝刊地域面にて、当館デジタルアーカイブを活用して作成された松竹創業130周年歌舞伎座チラシについて取材していただいた記事が掲載されました！

東京新聞デジタル版

<https://www.tokyo-np.co.jp/article/458368>

昨年の松竹創業130周年という記念すべき年に、当館デジタルアーカイブが活用されチラシが作成されたことを広く周知していただくことができ、うれしく存じます。今後も、デジタルアーカイブの充実を図り、皆さんに役立つ図書館を目指して活動してまいります！



昭和10年12月歌舞伎座筋書表紙

松竹大谷図書館ホームページ デジタルアーカイブはこちら

<https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/digital-archive/>

■2025年もたくさんの中区イベントに参加しました！

●中央区まるごとミュージアム2025

中央区の文化的な魅力を発見・再確認していただくイベント「中央区まるごとミュージアム2025」が、昨年11月9日（日）に開催されました。地域の、より多くの皆さんに当館を知っていただくため、通常は平日開館のみの当館も、イベントに合わせ特別に開館し、参加いたしました。イベントでは、資料の閲覧、ブックトラック展示のほか、初めてスタッフによるギャラリーミニトークも実施し、好評をいただきました。

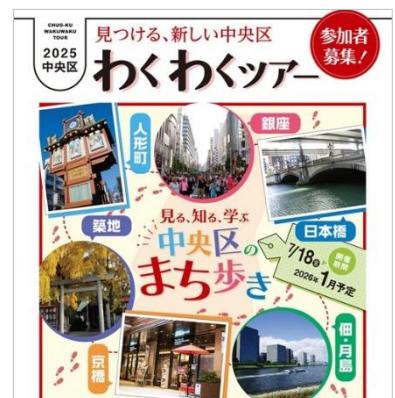
●中央区まちかど展示館集合イベント

当館が参加している「中央区まちかど展示館」が銀座三越に大集合するイベントが「中央区まるごとミュージアム2025」の一環として同日に開催されました。まちかど展示館の魅力が感じられる展示や職人による実演、ミニ体験コーナーなどが行われ、当館は資料展示による参加をいたしました。歌舞伎座では昨年、三大名作が一挙上演されたことから、三大名作の歌舞伎台本と、松竹創業130周年チラシにも使用された戦前の歌舞伎座筋書を展示いたしました。

●中央区わくわくツアー

地域の皆さんに当館により親しんでいただこうと、中央区観光協会主催の「わくわくツアー」に参加し、11月12日、参加者10名と中央区のガイドの方にご来館いただきました。「歌舞伎のいろはを学ぶ」というテーマに沿って、歌舞伎をより楽しんでいただくための歌舞伎関連図書や歌舞伎台本、ポスターなどをご紹介いたしました。また、実際に手にとってご覧いただきながら資料の特色などを解説し、ご質問にお応えするコーナーも設け、参加者の方に喜んでいただくことができました。

こうした中央区のイベントに参加することにより、地域の皆様と触れ合う機会を持ち、より一層当館の魅力を発信していくよう今後も努めて参りたいと存じます。



資料提供 (2025年11~12月)

※許可を得た方のみ掲載しております

[展示]2025年度関西大学博物館実習展「松竹座100年のあゆみ 時代を彩ったエンターテインメント」2025年11月9日～27日関西大学博物館特別展示室 雑誌『松竹座グラフィック』を提供

[出版]『家庭画報 2026年1月号「歌舞伎こそ、 “国の宝” 」』2025年12月1日世界文化社 海外公演プログラムを提供

[上映]「日芸映画祭2025 はたらく×ジェンダー」2025年12月6日～12日ユーロスペース 映画『浪華悲歌』を提供

[その他]歌舞伎座「松竹創業百三十周年 十二月大歌舞伎」本チラシ・歌舞伎美人等に昭和10年12月歌舞伎座筋書を提供

新たに資料をご寄贈くださった方々 (敬称略・順不同/2025年11月まで)

※許可を得た方のみ掲載しております

松竹株式会社、東宝株式会社ライツ事業部、株式会社アルタミラピクチャーズ、シナリオ・センター、株式会社日本舞踊社、黒澤明研究会会誌、文学座、協同組合日本シナリオ作家協会、無声映画鑑賞会、シアタークリエ、若林さだ吉、株式会社オフィスタカヤ、人形劇団プーク、国立映画アーカイブ、有限会社合同通信社、劇団民藝、神奈川県演劇連盟、博松大剛、東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団）、公益社団法人日本照明家協会、キネマ旬報社、（株）近代映画社、劇団青年座、株式会社OSK日本歌劇団、新国立劇場情報センター、国立劇場、銀座 博品館劇場、おとなのデジタルTVナビ編集部、銀座百店会、独立行政法人日本芸術文化振興会（国立劇場）、BMFT出版部、公益財団法人 劇場演出空間技術協会、明治座、公益財団法人日本近代文学館、公益財団法人阪急文化財団、協同組合 日本映画撮影監督協会、丹野達弥、歌舞伎研究会 三田会、劇団俳優座、早稲田大学演劇博物館、安孫子正

どうもありがとうございました

新着資料案内

(ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします)

新しく受入れた資料をご案内いたします

◆松竹系11月演劇公演資料◆

劇場	演目	○ … 受入済み			
		台本	スチール	プログラム	ポスター
歌舞伎座	『御撰勘進帳』	○	○	○	○
	『道行雪故郷 新口村』	○	○		
	『鳥獣戯画絵巻』	○	○		
	『曾我綾俠御所染 御所五郎藏』	○	○		
	『當年祝春駒』		○		
	『歌舞伎絶対続魂 幕を閉めるな』	○	○		
新橋演舞場	『爆烈忠臣蔵』			○	
松竹座	『じゅりん子チエ』	○		○	○
	『四代目桂福團治 芸歴六十五年記念公演』			○	
南座	『一姫二太郎三かばちや』	○		○	○
	『お祭り提灯』	○			
巡業	『泥棒と若殿』	○		○	
	『華競芝居賑 お祭り』	○			

◆松竹系12月演劇公演資料◆

劇場	演目	○ … 受入済み			
		台本	スチール	プログラム	ポスター
歌舞伎座	『世界花結詞』	○		○	○
	『丸橋忠弥』	○			
	『芝浜革財布』	○			
	『与話情浮名横櫛 源氏店』	○			
	『火の鳥』	○			
新橋演舞場	『爆烈忠臣蔵』			○	
松竹座	『スイートホーム ピターホーム』	○	○		
	『大阪松竹座 ステージ体験ツアーフィナル』				
南座	『醍醐の花見』	○		○	○
	『一條大蔵譚 檜垣 奥殿』	○			
	『玉兎』				
	『鷺娘』				
	『平家女護島 俊寛』	○			
	『寿曾我対面』	○			
	『八代目尾上菊五郎・六代目尾上菊之助 袖名披露 口上』				
	『弁天娘女男白浪 浜松屋見世先稻瀬川勢揃い』	○			
	『三人形』	○			

◆他社演劇公演資料(9月-12月) ◆『ミュージカルコーラスライン日本特別公演』東京建物Brillia HALL (豊島区立芸術文化劇場) プログラム/ノサカラボ『舞台THE MOUSETRAP』博品館劇場プログラム/『林佑樹誕生日公演2025』渋谷区文化総合センター大和田伝承ホールプログラム/劇団民藝『聴衆0の講演会』紀伊國屋ザザンシアタープログラム、台本/Xレパートリー劇場『三文オペラ』シアターXプログラム/前進座『笑いごとではありません!』三越劇場(日本橋) プログラム/『CLUB SEVEN another place II』有楽町よみうりホールプログラム/ミュージカル『SPY×FAMILY』日生劇場プログラム/音楽劇『エノケン』シアタークリエプログラム/文学座『野良豚』文学座アトリエ台本/劇団俳優座『霧ぬけて』俳優座スタジオ台本/『酔いどれ天使2025』

明治座台本/『また本日も休診』明治座台本/『舞台ゲゲゲの鬼太郎』明治座台本/『大逆転! 戦国武将養賀』明治座台本/『焼肉ドラゴン』新国立劇場小劇場プログラム/ミュージカル『エリザベート』シアターオーブプログラム/劇団アンパサンド『デンジャラス・ドア』ザ・ズズナリプログラム/幻灯劇場『Waltz for Daddy』テアトルエコープログラム/新派の子×玄狐『千里眼の女』『わが家』サンモールスタジオプログラム/ファニーダイア『浅草レビュー vol. 4』浅草公会堂プログラム/燐光群『高知パルプ生コン事件』下北沢「劇」小劇場プログラム/あ・うんぐるーぶ『紅葉山絆恋』『神楽坂物語』博品館劇場プログラム/贅沢貧乏『わかろうとはおもっているけど』東京芸術劇場シアターアイーストプログラム/竹生企画『マイクロバスと安定』本多劇場プログラム/阿佐ヶ谷スパイダース『さらば黄昏』下北沢小劇場樂園プログラム/劇団俳優座『存在証明』シアタートラムプログラム/台本/鏡花歌舞伎『陽炎座』博品館劇場プログラム/まつもと市民芸術館プロデュース『チェーホフを待ちながら』神奈川芸術劇場大スタジオプログラム/KAAT×城山羊の会『勝手に唾が出てくる甘さ』神奈川芸術劇場中スタジオプログラム/JACROW『THIS HOUSE』シアタートップスプログラム/舞台『フォールポイント』博品館劇場プログラム/ミュージカル『バグダッド・カフェ』シアタークリエプログラム/『鼻血』新国立劇場小劇場プログラム/劇団民藝『祈りの大地』東京芸術劇場シアターウエストプログラム/『Yuichiro & Friends 2』シアタークリエプログラム

◆映画資料◆ (順不同)『ラブライブ!虹ヶ咲学園スクールアイドル同好会 完結編 第2章』パンフレット/『映画館で!おかあさんといっしょスペシャルステージ なないるのはね』パンフレット/『KILL 超覚醒』パンフレット/『TOKYOタクシー』ポスター、パンフレット、台本/『ナイトフラワー』パンフレット、台本/『映画ラストマン FIRST LOVE』パンフレット

◆映画パンフレット◆ (順不同)『Mr. ノーバディ2』『恋に至る病』『トロン:アレス』『SPIRIT WORLDスピリットワールド』『劇場版 OFFICIAL HIGE DANDISM LIVE at STADIUM 2025』『てっぺんの向こうにあなたがいる』『プレデター:バッドランド』『秒速5センチメートル』『劇場版 呪術廻戦「渋谷事変 特別編集版」×「死滅回游 先行上映』』『劇場版 呪術廻戦 0(第2版)』『落下的王国 4Kデジタルリマスター』『WEAPONS/ウェポンズ』『きのう生まれたわけじゃない』『ヤンヤン 夏の想い出 4Kレストア版』『栄光のバックホーム』『阪神タイガースTHE OFFICIAL MOVIE 2025 栄光の虎道(こどう)』『果てしなきスカーレット』『ブルーボーイ事件』『平場の月』『ブラックフォン 2』『兄を持ち運ぶサイズに』『佐藤さんと佐藤さん』『MGA MAGICAL 10 YEARS ANNIVERSARY LIVE FJORD ON SCREEN|MGA MAGICAL 10 YEARS DOCUMENTARY FILM THE ORIGIN』『ズートピア2』『ズートピア 第2版』『悪魔祓い株式会社』『ロマンティック・キラー』『新解釈・幕末伝』『ビューティフル・ジャーニー ふたりの時空旅行』『アバター:ファイヤー・アンド・アッシュ』

◆演劇雑誌◆ (順不同)『Confetti』2025年December, 2026年January/『JPL』No. 98/『KENSYO』Vol. 139/『the座』127号/『あぜくら』2025年11月号, 12月号/『えんぶ』2025年12月号/『こでん』28号/『ほうとう』2026年1月号, 2月号/『ジョイン』No. 113/『ステージぴあ』2025年11+12月号/『アトロ』2025年12月号, 2026年1月号/『ミュージカル』2025年11月号/『ラ・アルプ』2025年12月号, 2026年1月号/『演劇博物館報』Vol. 123/『花もよ』81号, 82号/『喝采』2026年3月, 3月-4月/

(次ページへ続く)

(演劇雑誌続き) 『劇評』第44号, 第45号 / 『大向う』令和7年11月号, 12月号 / 『日本演劇興行協会会報』69号 / 『日本照明家協会誌』2025年11月号, 12月号 『日本舞踊』77巻12月号, 78巻1月号 / 『悲劇喜劇』2026年1月号 / 『文化座』206号

◆映画雑誌◆(順不同) 『FLIX』2026年2月号 / 『NFAJプログラム』No. 69 / 『SCREEN』2026年1月号, 2月号 / 『TVガイド』2025年11/14号, 11/21号, 11/28号, 12/5号, 12/12号, 12/19号, 2026年1/4号, 1/9号 / 『おとなのデジタルTVナビ』2026年1月号, 2月号 / 『キネマ旬報』2025年12月号, 2026年1月号, 2025年12月号増刊キネマ旬報NEXT Vol. 68, 2026年1月号増刊キネマ旬報NEXT Vol. 69 / 『シナリオ』2026年1月号, 2月号 /

『シナリオ教室』2025年12月号, 2026年1月号 / 『シネ・フロント』2025年冬 / 『ドラマ』2025年12月号, 2026年1月号 / 『ピクトアップ』2026年2月号 / 『ムービー・スター』2026年2月号 / 『ロケーションジャパン』2025年12月号 / 『映画テレビ技術』2025年12月号, 2026年1月号 / 『映画芸術』493号 / 『映画撮影』No. 245 / 『映画時報』2025年10月号, 2025年11月号 / 『映画秘宝』2026年1月号, 2026年2月号 / 『映画論叢』70号 / 『日経エンタテインメント!』2025年12月号, 2026年1月号 / 『文化通信ジャーナル』2025年12月号

新規登録資料案内 (順不同)

新しく登録した資料をご案内いたします

『木/下歌舞伎叢書4義経千本桜』『木/下歌舞伎叢書3心中天の網島』『Q・フェイクスピア』『賤作桜の森の満開の下・足跡姫 時代錯誤冬幽霊』『忠臣蔵の四季』『京都藤井家中村歌右衛門丈所藏品入札目録』『体験的女優論』『いまこそ人生で大切なことは映画から学ぼう 小田原まちなか映画館の挑戦』『P.C.L. 映画の時代 ニッポン娯楽映画の源流1932-1937』『女性監督は歩き続ける 第37回東京国際映画祭 ウィメンズ・エンパワーメント部門シンポジウム公式ブックレット』

『MOVIE:BOX 映画がひらく夢の扉』『三國連太郎』『海の沈黙公式メモリアルブック』『映画音楽はかく語りき いつか見た映画、時をかける音楽』『植木等伝「わかっちゃいるけど、やめられない!」』『劇団NLTコメディ路線50年の歩み』『踊りごよみ』『舞序破急』『踊りひとすじ西川鯉次郎』『西川舞踊名鑑[第2巻]』『西川舞踊名鑑[第3巻]』『舞踊年鑑 2024』『小唄鑑賞 改訂増補版』『演劇年鑑 2025』

■2026年カレンダーのお知らせ

2026年のカレンダーが完成いたしました。

なお、開館日時につきましては、状況の変化にともない変更の可能性がございます。随時お電話でのご確認や、当館のHP、SNSの更新をご確認下さい。ご理解ご協力の程、よろしくお願ひ申し上げます。

当館HP

<https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/>

松竹大谷図書館カレンダー2026

* ■印の日は休館日です

1月					2月					3月					4月												
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木		
					1	2	3	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4		
4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14	8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11
11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21	15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18
18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28	22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25
25	26	27	28	29	30	31								29	30	31					26	27	28	29	30		
5月					6月					7月					8月												
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木		
					1	2		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4								1	
3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13	5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8
10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20	12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15
17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27	19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22
24	25	26	27	28	29	30	28	29	30					26	27	28	29	30	31		23	24	25	26	27	28	29
31																				30	31						
9月					10月					11月					12月												
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木		
								1	2	3	4	5	6	7		1	2	3	4	5							
6	7	8	9	10	11	12	4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14	6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19	11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21	13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26	18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28	20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30		25	26	27	28	29	30	31	29	30								27	28	29	30	31		

公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い

公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実かつ永続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募っております。

何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

■現在ご支援いただいている方々(了承を得た方のみ掲載)令和7[2025]年11-12月にご支援いただきました

法人・団体 (50音順・敬称略)

株式会社歌舞伎座
歌舞伎座サービス株式会社
歌舞伎座舞台株式会社
有限会社合同通信社
松竹株式会社
松竹衣裳株式会社

株式会社松竹映像センター
松竹音楽出版株式会社
松竹芸能株式会社
株式会社松竹サービスネットワーク
松竹プロードキャスティング株式会社
株式会社松竹マルチプレックスシアターズ

個人 ((50音順・敬称略)

安孫子正
鈴木舟光

細矢タエ

どうもありがとうございます

松竹大谷図書館へのご来館に関しまでのお願い

開館日時やご利用方法につきましては、状況の変化にともない変更の可能性がございます。

随時お電話でのご確認や、当館のHP、Facebookの更新をご確認ください。ご理解ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

《現在のご利用について》

●開館時間 10:00～17:00 ※ご予約なしでご利用いただけます

●閲覧予約サービス

閲覧席及び閲覧資料の事前予約ができますので、ぜひご利用ください。
松竹大谷図書館 03 (5550) 1694 (平日10時～17時)

●手指消毒用のアルコールをご用意しております。

《ご予約について》

★10時から17時まで、毎正時より1時間単位でご利用いただけます。

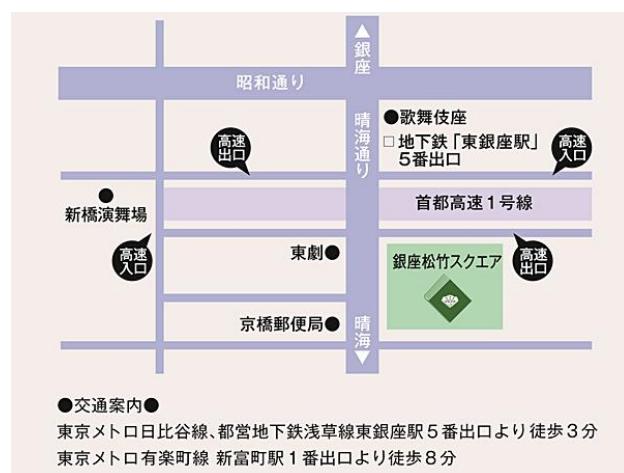
★お名前、人数、ご希望日時(〇月〇日〇時より〇時まで)、閲覧希望資料名、ご連絡先をお知らせください。

★資料は予約優先になりますので、ご利用いただけない場合もございます。

松竹大谷図書館資料検索：<https://lib-shochiku-otani.libraryexpert.net/qf/>

詳しいご利用方法はこちら：https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/news/current_usage_20240701/

春期整理休館のお知らせ
令和8年2月22日㈰



●利用案内●[開館時間]平日10:00～17:00/[休館日]土曜日、日曜日、祝日、毎月最終木曜日、5月1日、11月22日、年末年始、春期・夏期整理期間※その他、臨時休館のある場合は1ヶ月前から館内およびWebサイトに掲示します/[閲覧]館内閲覧のみ

[入館料]無料/[コピーサービス(2025年9月1日改定)] 白黒1枚 50円、カラー1枚 100円 コピーサイズ:B5、A4、B4、A3 量が多い場合は翌開館日渡し、または郵送(送料は申込者負担)但し、コピー不可の資料もあります

●資料検索●<https://lib-shochiku-otani.libraryexpert.net/qf/>

●交通案内●東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線 東銀座駅5番出口より徒歩3分／東京メトロ有楽町線 新富町駅1番出口より徒歩8分

公式HP



公式Facebook



公式Instagram



公式X



編集・発行：公益財団法人 松竹大谷図書館

〒104-0045 東京都中央区築地1-13-1 銀座松竹スクエア3階

TEL:03-5550-1694

公式HP <https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/>